

韓国

マクロ経済動向と展望

世界的な金融危機と、それに伴う景気後退の進行の中で、韓国経済も実体経済の停滞が明らかになりつつある。

11月の産業生産指数（季節調整値）は前月比-10.7%と、記録的な低下を示した。GDPの推計業務を担当している韓国銀行（中央銀行）が、2008年12月に公表した経済予測では、第4四半期のGDPを前期比-1.6%としており、短期的には韓国経済は既にマイナス成長に陥ったと見られる。

一方で国際収支は、為替レートの大幅な減価もあり、黒字基調を取り戻しつつある。11月の経常収支は20億6,000万ドルの黒字で、10月に続いて2か月連続となった。このうち貿易収支（商品収支）は9億9,000万ドルの黒字であったが、前月の26億3,000万ドルからは大幅に減少した。原油価格の低下により輸入は減少したが、輸出先の景気低迷による輸出の減少幅がそれを上回った。韓国経済の置かれた厳しい状況を示している。また、サービス収支は旅行収支の黒字などにより、赤字幅を縮小している

物価は12月の消費者物価が前年同月比4.1%と、8月の同5.6%から、5か月連続で上昇幅を縮小した。しかし2008年通年の上昇率は4.7%で、アジア通貨危機に直後の1998年の7.5%以来の高水準となった。

先の韓国銀行の予測によれば、2008年のGDP成長率は、3.7%に止まり、さらに2009年は2.0%に低下するとされている。2009年の成長率を需要項目別に見ると、消費は0.8%と低迷し、設備投資は-3.8%と大幅に縮小する。また外需も輸出が1.3%と弱い伸びに止まると見込んでいる。これを受けて年間の失業率も2008年の3.2%から、3.4%に上昇するとされている。

政府の経済対策

こうした状況において韓国政府は、2008年の12月に2009年の経済成長率を従来の4%から3%に下方修正した。しかしこの数字は先に紹介した韓国銀行の予測値を1ポイント上回っており、政策的な努力を見込んだものと見られている。さらに具体的には、韓国銀行の予測では4万人の止まるとされている2009年の新規雇用者数が、10万人まで拡大するとしている。

こうした目標を実現するために、李明博政権は1月6日に「グリーン・ニューディール」と銘打った経済対策を発表した。これは漢江など国内の4大河川に対する治水事業などの公共事業や、低公害車の普及や再生可能エネルギーの開発などに、今後4年間で50兆ウォン（約3兆5,000億円）を投入するというものである。これによって延96万人の雇用を創出するとしている。4大河川の公共事業は既に12月から、一部着工されている。

こうした政策パッケージの内容については、多くの批判が寄せられている。まず、基本的に旧来型の公共事業が中心で、生み出される雇用は建設業関連に限られるという批判、予算配分で見ても本来の環境分野に向けられる金額は、ごくわずかであるとの批判、また対策の中には湖南高速鉄道（KTX）¹など、既存の計画も含まれており、単なる寄せ集めにすぎないという批判などがあげられる。さらには、4大河川の公共事業については、李政権発足当初に大きな批判を浴びた「大運河構想」²の焼き直しではないかという懸念も出されている。

1997年のアジア通貨危機を超える可能性も指摘される、厳しい経済状況の中で、政府の経済運営に対する国民の信頼をつなぎ止められるか否か。2年目の李政権は厳しい試練にさらされている。

（ERINA調査研究部研究主任 中島朋義）

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	07年10-12月	08年1-3月	4-6月	7-9月	08年9月	10月	11月
国内総生産（%）	3.1	4.6	4.0	5.0	4.9	1.6	0.8	0.8	0.5	-	-	-
最終消費支出（%）	0.3	0.2	3.4	4.5	4.5	1.0	0.3	0.3	0.2	-	-	-
固定資本形成（%）	1.9	1.9	2.3	3.2	4.1	1.6	0.9	0.1	0.7	-	-	-
産業生産指数（%）	5.2	10.2	6.3	8.3	6.8	3.2	2.1	1.4	2.2	0.6	2.2	10.7
失業率（%）	3.6	3.7	3.7	3.5	3.2	3.1	3.0	3.2	3.2	3.1	3.1	3.3
貿易収支（百万USドル）	21,952	37,569	32,683	27,905	29,409	6,725	1,220	5,723	3,476	890	2,626	995
輸出（百万USドル）	193,817	253,845	284,419	325,465	371,489	103,272	99,446	114,494	115,000	37,434	37,172	29,015
輸入（百万USドル）	178,827	224,463	261,238	309,383	356,846	100,563	106,033	114,751	123,008	39,608	36,121	28,877
為替レート（ウォン/USドル）	1,192	1,144	1,024	955	929	921	957	1,019	1,067	1,137	1,327	1,401
生産者物価（%）	2.2	6.1	2.1	0.9	1.4	3.0	5.1	9.0	12.0	11.3	10.7	7.8
消費者物価（%）	3.5	3.6	2.8	2.2	2.5	3.3	3.8	4.8	5.5	5.1	4.8	4.5
株価指数（1980.1.4：100）	-	896	1379	1,434	1,897	1,897	1,704	1,675	1,448	1,448	1,113	1,076

（注）国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、産業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成は2000年基準、生産者物価、消費者物価は2005年基準

貿易収支はIMF方式、輸出入は通関ベース

（出所）韓国銀行、統計庁他

¹ ソウルと韓国南西部の全羅道地方を結ぶ高速鉄道。

² 4大河川などを運河でつなぎ、ソウル首都圏と釜山を、水運で結ぶという構想。